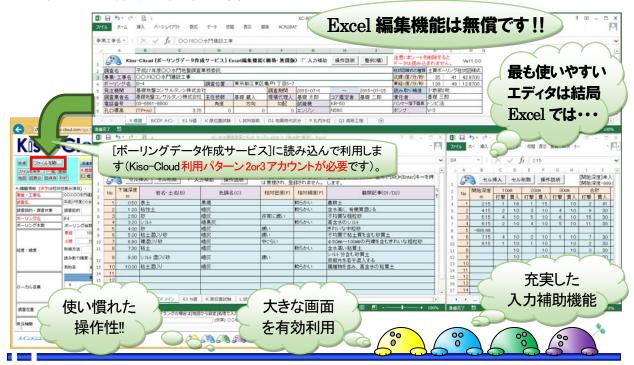
使い慣れた Excel を使ってボーリングデータを無償で作成!!

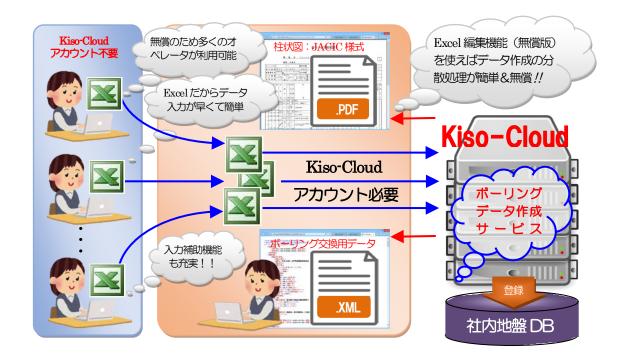
① Excel でボーリングデータを作成→② ボーリングデータ作成サービスに読み込み]→③ CALS 電子納品データ&JACIC 柱状図を作成]・・・が可能となりました!!

- [ボーリングデータ作成サービス]では、ボーリングデータ作成用エディタとして[Web ブラウザ]を利用 しますが、柱状・岩盤柱状・BASE/Win などの Windows アプリケーションと比較するとデータをキー 入力しづらい…との声を頂いております。
- 事実、複雑かつ大量のデータをキー入力する作業においては、Web アプリケーションが Windows アプリケーションに追いつくには、もう少しの時間が必要です。
- そこで、[Web ブラウザ]の代わりに[Microsoft Excel]を利用したボーリングデータ入力用エディタとして、Excel 編集機能(簡易・無償版)から提供させて頂きます。
- 簡易版とは…CALS 電子納品形式のうち土質柱状図を作成するのに必要となる項目に絞ってデータ入力を行います。具体的には[A:標題情報、B:岩石・土区分、C:色調区分、D1:観察記事、E1:標準貫入試験、K:原位置試験、L:試料採取、O1:地質時代区分、P:孔内水位、Q1:掘削工程の入力が可能であり、B・C・D・F は同一表にて入力します。今後、CALS 電子納品形式の全項目が入力可能な詳細版も計画しています。
- 無償版とは…「ボーリングデータ作成サービス」の「ファイルを開く」から、本機能で作成した Excel データを読み込ませる方式の Ver.を無償版として提供します。配布および使用に制限がないため、多くのユーザによりボーリングデータを作成 (=キー入力) することが可能です。今後、Excel 編集機能から直接、CALS データ作成機能や柱状図作成機能を呼び出す Ver.も計画されており、こちらは有償版(Kiso-Cloud 認証)となる予定です。



目 次

1. Excel 編集機能の取得	
2.ダウンロードファイルの説明	1
3.MS Excel のマクロ設定	
4.[起動]~[終了]~[ボーリングデータ作成サービス]に登録	2
5.ボーリングデータ入力	
5.1.操作説明	3
5.2.整列(横)	3
5.3.[セル挿入]および[セル削除]	3
5.4.[A 標題]	
5.5.[BCDF メイン]	5
5.6.[E1 N 値]	6
5.7.[K 原位置: 3.1]	6
5.8.[L 試料採取]	
5.9.[01 地質時代区分]	8
5.10.[P 孔内水位]	8
5.11.[Q1 掘削工程]	8



ボーリングデータ作成サービス・Excel 編集機能(簡易・無償版)操作マニュアル

Ver.1.0.0 2016/08: サービス提供開始

発行所 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 Kiso-Cloud 事務局

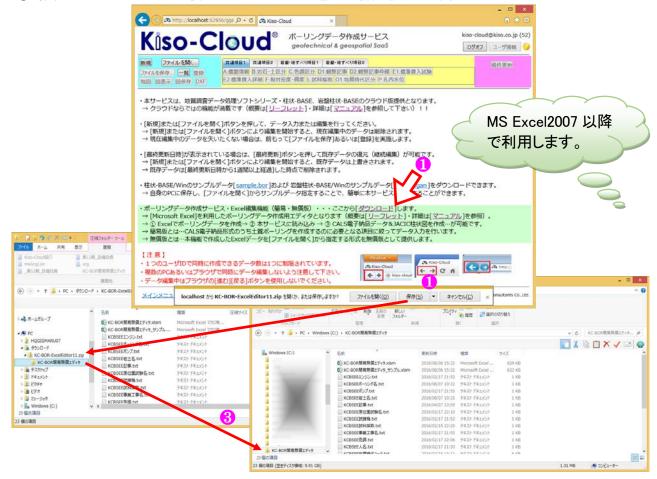
〒136-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー12 階

問合先 e-mail: kiso-cloud@kiso.co.jp

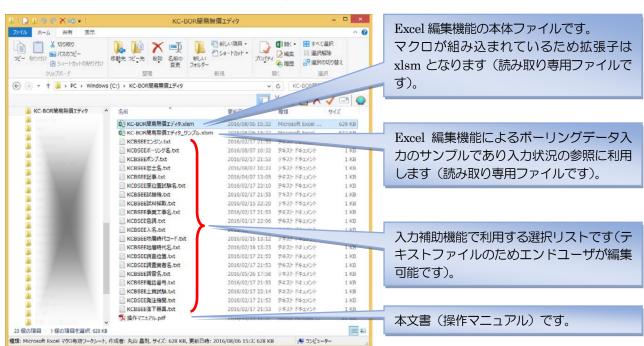
1. Excel 編集機能の取得

[ボーリングデータ作成サービス]のトップページから Excel 編集機能に必要なファイルをダウンロードします。

- ① [ボーリングデータ作成サービス]のトップページから [ダウンロード]リンクをクリックします。→[ファイルを開く]あるいは[保存]が確認された場合は[保存]を選択します(使用ブラウザにより若干、動作が異なります)。
- ② ダウンロードファイル(KC-BOR-ExcelEditor11.zip)を右クリックし[開く](あるいは zip 解凍)を選択します。
- ③ 解凍された[KC-BOR 簡易無償エディタ]フォルダを適切な場所に移動します。



2.ダウンロードファイルの説明

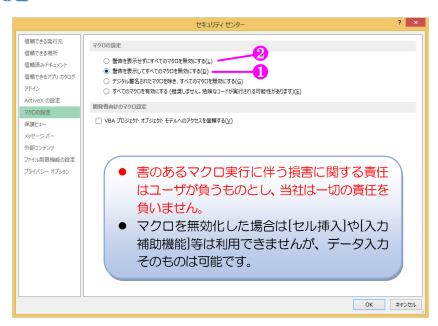


3.MS Excel のマクロ設定

Excel 編集機能では Excel マクロを 利用するため、マクロ機能を有効化 する必要があります。

- ① Excel のセキュリティセンター にて[マクロ設定]を[警告を表 示してすべてのマクロを無効 にする]を設定することを推奨 します。
- ② [警告を表示せずに全てのマクロを無効にする]を設定した場合はマクロを利用できません。

Excel マクロに対するセキュリティポリシーや設定方法については Excel 関連資料を参照して下さい(例えば、Google 等のサーチエンジンで [Excel マクロ 有効化]で検索することで多くの有効な資料を参照可能です)。

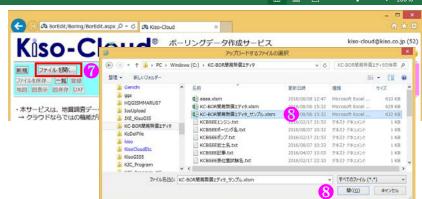


4.[起動]~[終了]~[ボーリングデータ作成サービス]に登録

- ① [KC-BOR 簡易無償エディタ.xlsm]をファイルエクスプローラでダブルクリック、あるいは Excel を起動し[ファイル]-[開く]をクリックし[KC-BOR 簡易無償エディタ.xlsm]を選択します。
- ② マクロのセキュリティ設定により「セキュリティ警告」が表示された場合は[コンテンツの有効化]をクリックします(一度、有効化をクリックすると、次回から警告は表示されません)。
- ③ [A 標題]~[Q1 掘削工程]タブをクリックし、各項目に対しキー入力します。
- ④ [KC-BOR 簡易無償エディタ.xlsm]は読み取り専用ファイルのため、データ入力後に[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックし、入力データに応じた別ファイルとして保存します(思わぬデータ消失に備え、早前に名前を付けて保存し、入力中にこまめに[ファイル]-[上書き保存]をクリックすることを推奨します)。
- ⑤ [ファイル]-[閉じる]をクリックし入力を終了します。
- ⑥ データ更新の場合は、名前を付けて保存した Excel ファイルを選択しデータ更新します。



- ⑦ [ボーリングデータ作成サービス]において[ファイルを開く]をクリックします。
- ⑧ 「アップロードするファイルの 選択」ダイアログにおいて、名前 を付けて保存した Excel ファイ ルを指定し「開く」をクリック。
- 第 指定データを読み込み Web ブラウザに表示します。

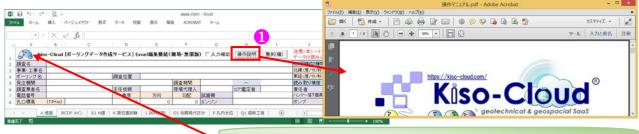


5.ボーリングデータ入力

簡易版では、「地質・土質調査成果電子納品要領(案) 平成 20 年 12 月 国土交通省」の「地質・土質調査成果電子納品要領(案) 付属資料 平成 20 年 12 月 国土交通省」の「付属資料 5 ボーリング交換用データ」のうち、土質柱状図を構成する項目について入力します。

5.1.操作説明

① 各タブの[操作説明]をクリックすると、操作マニュアル(.pdf)を表示します。 本機能を利用するためには、前もって PDF 閲覧ソフトをインストールしておくことが必要です。



5.2.整列(横)

[.BOR くん]をクリックする事で、ブラウザを起動し Kiso-Cloud ページに遷移します。

他のタブを参照したり、同時に複数タブのデータ入力を行う場合に利用します。

① [A 標題]タブの[整列(横)]をクリックすると、編集中の Excel データをコピーし横に並べます (Excel2007 では子ウィンドウとして横に並べます)。



5.3.[セル挿入]および[セル削除]

- [A 標題]タブ以外では一覧表形式での入力となり、[セル挿入]および[セル削除]機能を利用できます。
- ① セルを選択し「セル挿入」をクリックすると、選択セルに空セルが挿入され、選択セル以下のデータが下方向に 移動します。
- ② 選択セル数分だけ移動するため、右図の下端深度のように2セル選択している場合は、2セル分の空セル挿入と2セル分の下方向移動します(右図赤枠)。
- ③ 反対にセルを選択し[セル削除]をクリック すると、選択セルのデータは削除され、選 択セル以下のデータが上方向に移動します。
- ④ [行挿入][行削除]する場合は同一行で全てのセルを選択します(右図青枠)。
- ⑤ マクロを無効にした場合、[セル挿入][セル 削除]はセル範囲を選択しドラック&ドロ ップにより選択セルを移動します。

注意: セル挿入削除に Undo/Redo は効きません。



5.4.[A 標題]

(1) 入力項目

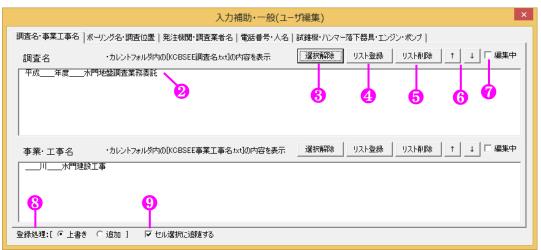
「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-2 A 様式:標題情報」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。また、[柱状図様式の種類]と[経度緯度情報:読み取り精度]をリスト選択します。

注意:本シート([A 標本]タブ)を削除すると正しいデータとして認識されなくなるため、[A 標本]タブは削除しないで下さい。



(2) 入力補助

- [A 標本]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。
- ① [入力補助]をチェック(✔)すると[入力補助・一般(ユーザ編集)]ダイアログが表示されます(上画面参照)。
- ② [調査名・事業工事名]~[試錐機・ハンマー落下器具・エンジン・ポンプ]タブをクリックし、選択リスト内の項目をクリックすると、選択したデータが当該セルに入力されます。
- ③ [選 択 解 除]…既にリスト内の項目が選択済みの場合、クリックすることで選択状態を解除できます。
- ④ [リスト登録]…当該セルにキー入力されているデータが、選択リスト内に登録されます(②と逆動作)。
- ⑤ [リスト削除]…選択リスト内の項目をクリックし[リスト削除]をクリックすると、当該データが選択リスト内から削除されます。
- ⑥ [↑][↓]…選択リスト内の表示順を変更する場合に使用します。
- ⑦ [編集中]…チェック (✔) 中は選択リスト内の項目をクリックしても、選択したデータが当該セルに入力されません。[リスト削除]や[↑][↓]に伴い当該セルを変更したくない場合にチェックします。
- ⑧ 登録処理:[上書き][追加]…②操作により選択したデータを当該セルに入力する際の動作を指定します。
- ⑨ [セル選択に追随する]…チェック (✔) 中は[A 標本]タブのセル選択に、[入力補助・一般(ユーザ編集)]ダイアログ (タブ) 表示が追随します。



- ⑩ 選択リスト内の項目は、カレントフォルダ内にある[KCBSEE〇〇〇〇.txt]に登録されます。テキストエディタを利用しての編集も可能です(サポート範囲外です)。
- ⑪ 例えば Excel 編集機能を(社内)配布する場合に[KCBSEE〇〇〇〇.txt]を編集し、選択リストの社内標準を設定後に配布することも有効です。
- ⑫ ダイアログの図をクリック、あるいは[入力補助]をチェックオフすると、[入力補助・一般(ユーザ編集)]ダイアログが非表示となります。
- ③ [入力補助]をチェック(✔) しておくと、[A 標本]タブ選択に伴い、自動的に[入力補助・一般(ユーザ編集)] ダイアログが再表示されます。

5.5.[BCDF メイン]

(1) 入力項目

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-3 B 様式:岩石・土区分」「2-4 C 様式:色調区分」「2-5 D1 様式:観察記事」「2-11 F 様式:相対密度・相対稠度」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

[ボーリングデータ作成サービス]では CALS 電子納品形式に忠実に、各下端深度は独立しているものとして各々別の一覧表にて入力しますが、本機能では「柱状-BASE」と同様に各下端深度は一定として、同じ一覧表にて入力します(「2-6 D2 様式:観察記事枠線」も二層下端深度とします)。

本仕様により[ボーリングデータ作成サービス]と比較して自由度は下がりますが、入力効率は格段に向上します。

- ① [下端深度(m)][岩名・土名][色調名][相対密度][相対稠度][観察記事]をキー入力します。[相対密度][相対稠度] はリスト選択も可能です。
- ② [下端深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、土層情報として登録されません。
- ③ [行高さ][列幅]はマウス(カーソルが十字に変わったところで)のドラッグ&ドロップにより変更可能です。 観察記事が長い、あるいは複数入力する場合は、適宜[行高さ]や[列幅]を調整して下さい。
- ④ 観察記事は改行したい個所で[Alt]+[Enter]キーを押します。



(2) 入力補助

[BCDF メイン]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[岩名・土名][色調名][観察記事]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(**)** すると、[入力補助]ダイアログが表示されます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したい セルを選択しておきます(複数セルの選 択が可能です)。
- ③ [土名/色調名]~[色調(ユーザ編集)]タブをクリックし、選択リスト内の項目をクリックすると、選択したデータが選択セル欄に入力されます。
- ④ [土名/色調名]タブの[土名]選択のみ、各リストを選択し[土名]入力をクリックします(右図の場合は[砂混りシルト質粘土]が入力されます)。
- ⑤ [○○ (ユーザ編集)]タブは[A 標題]タブ の入力補助と同様、既入力データをリストアップして再利用するためにあります。[選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。



5.6.[E1 N 值]

(1) 入力項目

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-7 E1 様式:標準貫入試験」項目を入力します。

- ① [(N 値測定) 開始深度(m)]および 10cm 毎[貫入(量)][打撃(回数)]をキー入力 します。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、標準貫入試験情報として登録されません。
- ③ 合計[貫入(量)][打撃(回数)]は自動計 算されますが、キー入力による上書きも 可能です。
- ④ [開始深度(m)]を[-999.99]とし、全ての[貫 入][打撃]を空白とすると N 値グラフで上 下地点を線で結びません(右図青矢印)。



⑤ [ハンマー自沈][ロッド自沈]の場合は、[備考]のドロップダウンリストから選択し、10cm [貫入(量)]に貫入量(自沈量)をキー入力して下さい。

5.7.[K 原位置試験]

(1) 入力項目

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2·20 K 様式:その他の原位置試験」項目を入力します。

- ① [開始深度(m)]=[試験区間:上端深度(m)]、 [終了深度(m)] =[試験区間:下端深度(m)]、 [原位置試験名]=[その他の試験の名称]、 [試験結果等]をキー入力します。[原位置 試験名]はリスト選択も可能です。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、原位置試験情報として登録されません。
- ③ 試験名を[孔内水平載荷試験][透水試験][PS 検層試験]とした場合でも[K: その他の原位置試験に登録します。



(2) 入力補助

[K 原位置試験]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[原位置試験名]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(✔) すると、[入力補助・原位置試験(ユーザ編集)]ダイアログが表示されます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したい セルを選択しておきます(複数セルの選 択が可能です)。
- ③ 選択リスト内の項目をクリックすると、 選択したデータが選択セル欄に入力され ます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。



5.8.[L 試料採取]

(1) 入力項目

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-21 L 様式:試料採取」項目を入力します。

- ① [開始深度(m)]=[採取区間:上端深度(m)]、[終了深度(m)] =[採取区間:下端深度(m)]、[試料番号]、[採取方法]、 [試験名]をキー入力します。[採取方法]はリスト選択も可能です。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、試料採取情報として登録されません。



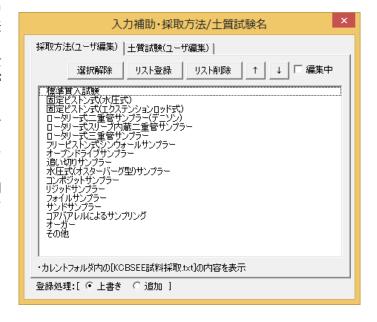
(2) N 値情報取得

[E1 N値]タブに入力済みの[開始深度(m)][終了深度(m)]を取得できます([採取方法]は[標準貫入試験]となります)。

- ① N 値情報取得機能によりデータを入力したい開始セルを選択しておきます。
- ② [N 値情報取得]をクリックすると、[E1 N 値]タブに入力済みの[開始深度(m)][終了深度(m)]を取得し、開始セル以降に登録します。

(3) 入力補助

- [L 試料採取]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[採取方法][試験名]が入力補助対象となります。
- ① [入力補助]をチェック(✔)すると、[入力補助・採取方法/土質試験名]ダイアログが表示されます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したいセルを選択しておきます(複数セルの選択が可能です)。
- ③ [採取方法(ユーザ編集)]~[土質試験(ユーザ編集)]タブをクリックし、選択リスト内の項目をクリックすると、選択したデータが選択セル欄に入力されます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A標題]タブの入力補助と同一です。



5.9.[O1 地質時代区分]

(1) 入力項目

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-23 O1 様式:地質時代区分」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

- ① [開始深度(m)]=[区間深度:上端深度(m)]、 [終了深度(m)] =[区間深度:下端深度(m)]、 [地層時代名]をキー入力します。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、地質時代区分情報として登録されません。

(2) 入力補助

[O 地質時代区分]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[地層時代名]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(✔) すると、[入 力補助・地層時代名]ダイアログが表示さ れます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したい セルを選択しておきます(複数セルの選 択が可能です)。
- ③ [地層時代名(ユーザ編集)]か[地層時代 区分]タブをクリックし、選択リスト内の 項目をクリックすると、選択したデータ が選択セル欄に入力されます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。

5.10.[P 孔内水位]

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-25 P 様式: 孔内水位」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

- ① [孔内水位(m)][測定年月日]をキー入力します。
- ② [孔内水位(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、孔内水位情報として登録されません。

5.11.[Q1 掘削工程]

「付属資料 5 ボーリング交換用データ」の「2-26 Q1 様式:掘削工程」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

- ① [掘削深度(m)][測定年月日]をキー入力します。
- ② [掘削深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段階で無視され、掘削深度情報として登録されません。







